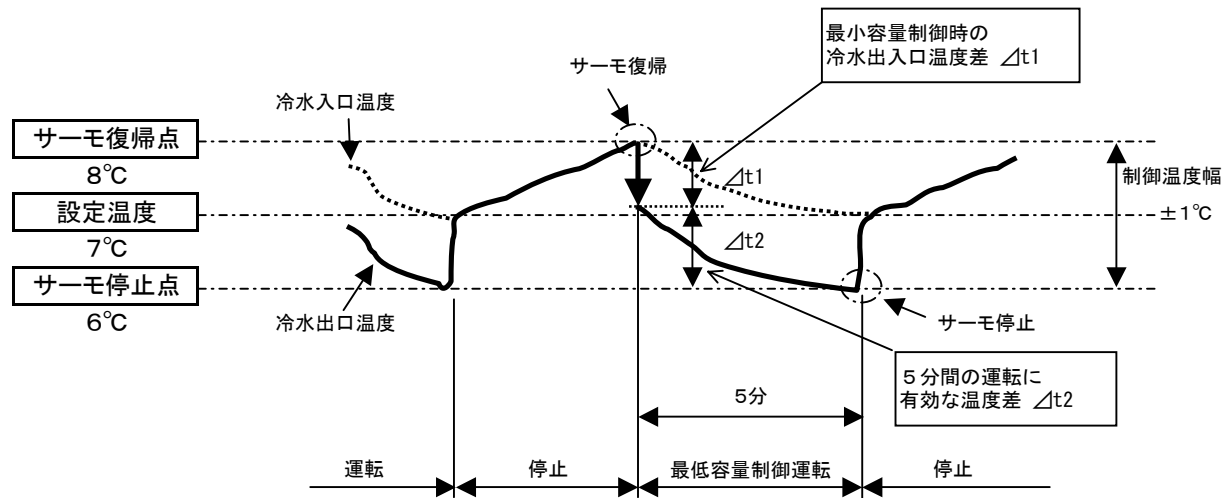


最低保有水量 MCR-SP***KEN シリーズ

「(冷却負荷) ≥ (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」の場合は、ユニットは停止することはありませんが、
 「(冷却負荷) ≤ (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」となる場合には、ユニットは発停を行います。
 発停が頻繁な場合には、圧縮機の寿命を損なう恐れがありますので、安定した運転を継続する為の保有水量の確保が必要です。
 「(冷却負荷) < (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」となる恐れがある場合には、以下の計算により得られる最低保有水量を確保して下さい。
 これは負荷がない時に、冷凍機ユニットを5分間運転するのに必要な保有水量です。確保されていない場合には冷水タンクの設置を検討下さい。
 (5分間とは、圧縮機が運転開始し、冷媒系統が安定するまでの概略時間です。)



【MCR-SP***KENシリーズ最低保有水量表】

<50Hz>

単位: m³

機種	MCR-SP40KEN	MCR-SP50KEN	MCR-SP60KEN	MCR-SP80KEN	MCR-SP100KEN	MCR-SP120KEN	MCR-SP150KEN
最低保有水量	0.55	0.74	0.85	1.10	1.41	1.81	2.14

※冷水出口温度: 7°C, 冷却水出口温度: 35°C, 最小冷却負荷=0の場合

<60Hz>

単位: m³

機種	MCR-SP40KEN	MCR-SP50KEN	MCR-SP60KEN	MCR-SP80KEN	MCR-SP100KEN	MCR-SP120KEN	MCR-SP150KEN
最低保有水量	0.65	0.87	1.02	1.29	1.66	2.14	2.57

※冷水出口温度: 7°C, 冷却水出口温度: 35°C, 最小冷却負荷=0の場合